

## 芦ノ田峠フットパス

平出集落と青木沢集落を結ぶ峠道。峠に小さい湿地がある。田んぼだったこともあり、戦時中には人が住んでいたという。

1. 道標(青木沢側)
2. 小さな石の観音像
3. カツラの木。目通り1.5m、10数本の株立ち
4. 青木沢の橋。青木沢地区など藤原の人たちの手で再建された。川は武尊川。橋付近の溪谷の美しさは藤原でも有数
5. 天王様。祀る人も少なくなった
6. 康申塚。「明和8年(1771年)卯」と刻まれている。周辺は伐採されて明るい。ヒツバカエデ、アカイタヤ、ウリハダカエデ、ハウチワカエデなどカエデ類がたくさん芽生えている
7. 石の道しるべ。「向平出道、右山道」とある。建てたのは「佐渡国住人」。山側に大きな岩。ホオノキ、ミズナラ、アカイタヤ、エゾヤマザクラが育つ
8. 大きなクリの切り株。50年も前に切ったという。用途は鉄道の枕木。最近こんなクリの巨木はとんとなくなった。切り株を通る道は最近、カラムツを運び出すために拡幅された。道をはさんで斜面の上側はトチノキ、ミズナラ、ブナなどの林、斜面の下側はオニグルミヤトチノキの林になっている
9. 3本「マツ」。一帯はカラムツ林の伐採跡地。峠方向、左側はミズナラの伐採地。
10. 芦ノ田湿地。水田に使っていたこともあるという。ヌマガヤやアシにまじって、サワギキョウ、イチヤクソウ、サワラン、モウセンゴケ、ミズゴケ類、ミツガシワなど。小さいが貴重な湿地
11. 芦ノ田峠。標高約848m
12. 里山ブナ林。藤原のブナ林は再生のちからが強い。若くて美しい二次林になっている
13. 炭窯の跡
14. 道標(平出側)



モウセンゴケ

# 芦ノ田峠

群馬県みなかみ町藤原

## フットパス

1.38 km



青木沢

30分  
⇄  
25分

芦ノ田峠

15分  
⇄  
20分

平出

その人は戦時中から居たと思います。

芦ノ田の田圃の有った処に、僅かな水があり、その水を小さな甕を作って取り、小石を敷き詰めた綺麗な水場がありました。村の人は、「吉田おばあ」とよんでいましたね。「おばあ」と言っても50歳くらいかな、男の人は若くて30代位の小柄な人。小屋は丸太で出来た。屋根は杉の木皮で葺いてあって石が乗っていた。

私は青木沢の実家の嫁さんと春先4月ごろ、薪取りに毎日出かけたものでした。「吉田おばあ」に10時のお茶に呼んで貰った。お茶受けにヨメナだといって野草のお浸しを頂いた覚えがある。小屋の中は地面に囲炉裏が有って、炭釜一枚ほどの座るところが有り板の棚が一段有った。棚にはお湯手道具が並んでいた。其の炭釜の向こうに筵が下がっていて、蒲団が一組位積んであり、柳行李や何かの包みが見えた。外にもいろいろな物かかっていたが、とても清潔感が有ったのを覚えている。

実家の蚕の手伝いや畑の仕事を手伝って呉れたと聞いている。男の人は何をしていたのか全然聞いたことがない。戦時中にあの若さで、如何して兵隊に行かなかったのかも不思議です。冬は如何していたのだろうか。私の知ってるのはここまでです。

(林夏みこ)

## 小さな湿地のフットパス



青木沢集落の道標(①)



観音さま(②)



武尊川の溪谷(④)



トチノキやミズナラの道(⑧)



伐採跡地に立つアカマツ(⑨)



芦ノ田湿地(⑩)



再生したブナ林(⑫)



平出側の入り口道標(⑭)

フットパス 芦ノ田峠 群馬県みなかみ町藤原  
 企画・制作 森林塾青水  
 編集協力 藤原案内人クラブ・地元有志・森林文化協会  
 発行 森林塾青水／東京都中央区湊1-2-3 プロスペリテ  
 八丁堀301 森林塾青水事務局・コミュニティデザイン  
 (浅川梁) TEL:0278-62-2111 info@commonf.net

